

めぐみの森だより 2024年11月号



社会福祉法人 雲柱社 めぐみの森保育園

☎ 03-3480-4448

「みんなで遊ぶのは楽しんだぞ！」

運動会のご参加ありがとうございました。「行事を経て大きく成長した」なんていうこともあるかもしれませんが、子どもたちは運動会後もいつも通り、ママを作って雲梯をしたり、音楽が流れると自然と体が動いたりと日常の生活が運動会に繋がっていると改めて実感しています。



ある日、私が階段を降りようと扉を開ける寸前、ゆり組から「もうしらない！」とAさんが出てきました。そのあとすぐにRさんもふくれっ面で出てきました。するとお互いがお互いの頭を1度ずつ叩き合い(アラアラッ)Aさんは廊下の端っこへ行き、ブツブツ。Rさんもブツブツ言いながら部屋に戻っていきました。Aさんは廊下に寝そべり引き続きブツブツ、RさんはAさんの様子が気になるのか、ゆり組の小窓から廊下の様子を伺っていました。

しばらくして、廊下で寝そべるAさんの所にRさんがやってきました。Aさんの怒りは収まらず「もうトモダチじゃない！！」と言い放ちました。Rさんは「・・・」としばらく沈黙した後「じゃんけんてRが勝ったら、トモダチで、Aくんがじゃんけんて勝ったら、トモダチじゃないにしよう」と提案・・・しかしその提案はなぜかすぐにRさんは撤回。次にRさんは「部屋まで走って勝ったらにしよう」と提案。そして「ヨーイ！」とRさんが言うとAさんは先にスタートしてしまい、その様子を見たRさんは「そうだ！！廊下は走っちゃいけないんだ！！！」と急に**正論**。

ここまで話してお分かりかと思いますが、RさんはAさんと仲直りをしたいのです。そのためにあの手この手を考えていたのだと思います。聖書の中にこんな言葉があります。

ひとりよりもふたりが良い(コヘレトの言葉4:9)



「自立」「自己実現」「自己責任」なんて言葉があります。めぐみの森保育園でも「自立」「自律」なんてことを入園説明会で耳にした保護者の方もいるかもしれません。そんな子どもの姿を目指しながらも、その目指す過程では保護者の方が困らないように子どもの体のサイズに合った衣服を準備して下さったり、クラスの仲間が泣いてしまった時に頬をつたう涙をティッシュで拭い取れたり、また子どもがチャレンジしようとする姿をそっと担任が見守ったりと様々な人が関わる中で子どもたちは「自立」「自己実現」できていくのだと思います。決して子どもたちは一人で成長していくわけではありません。

今回のRさんにとってAさんはとても大切な存在なのでしょう。ケンカしたけど“友だちでいたい”と思える存在なのでしょう。ひとりで遊ぶよりもふたりで遊びたいとRさんは思っているのでしょう。「自立」や「自己実現」について上記で語りましたが、単純に「ケンカしたりするけど、みんなで遊ぶって楽しいんだよね」と友だちの少ない私に教えてくれているような2人でした。(笑)

記:湯澤伸樹(主任)



<おすすめ>

子どもも大人も楽しめる街！？で、“たまプラーザテラス”がおすすめ。ポ○ネルドもあり、適度に大人が楽しめるブランド物もあり、そして授乳室や子ども向けのフリースペースもありまた雨に濡れずに移動できる！そして何より狛江から意外に車だと近い！若干食事スペースが小さいですかね…。

- ①育ったところは？:千葉県船橋市です。スポーツで有名な市立船橋高校の近くに住んでいました。
- ②私の意外な特技は？:指圧が異常に強く、肩もみは意外な特技かもしれません。
- ③無人島に1つもっていくなら？:「愛」
- ④苦手な食べ物は？:おやつに出てくると大丈夫なのですが、食事に出てくる“甘い”食べ物。
- ⑤100万円使い切る！何を？:あぶく銭なら、パーっと飲み会。稼いだお金なら投資！なんちゃって